

第2章 具体的な取り組み

2-1. 元気: もっと、県土に活力を

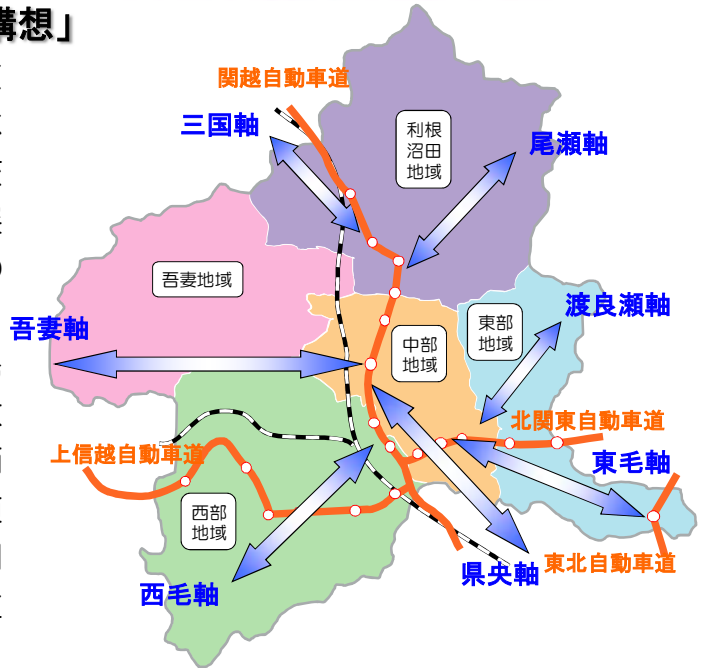
【主要施策】

>>> 7つの交通軸構想「軸の強化」 <<<

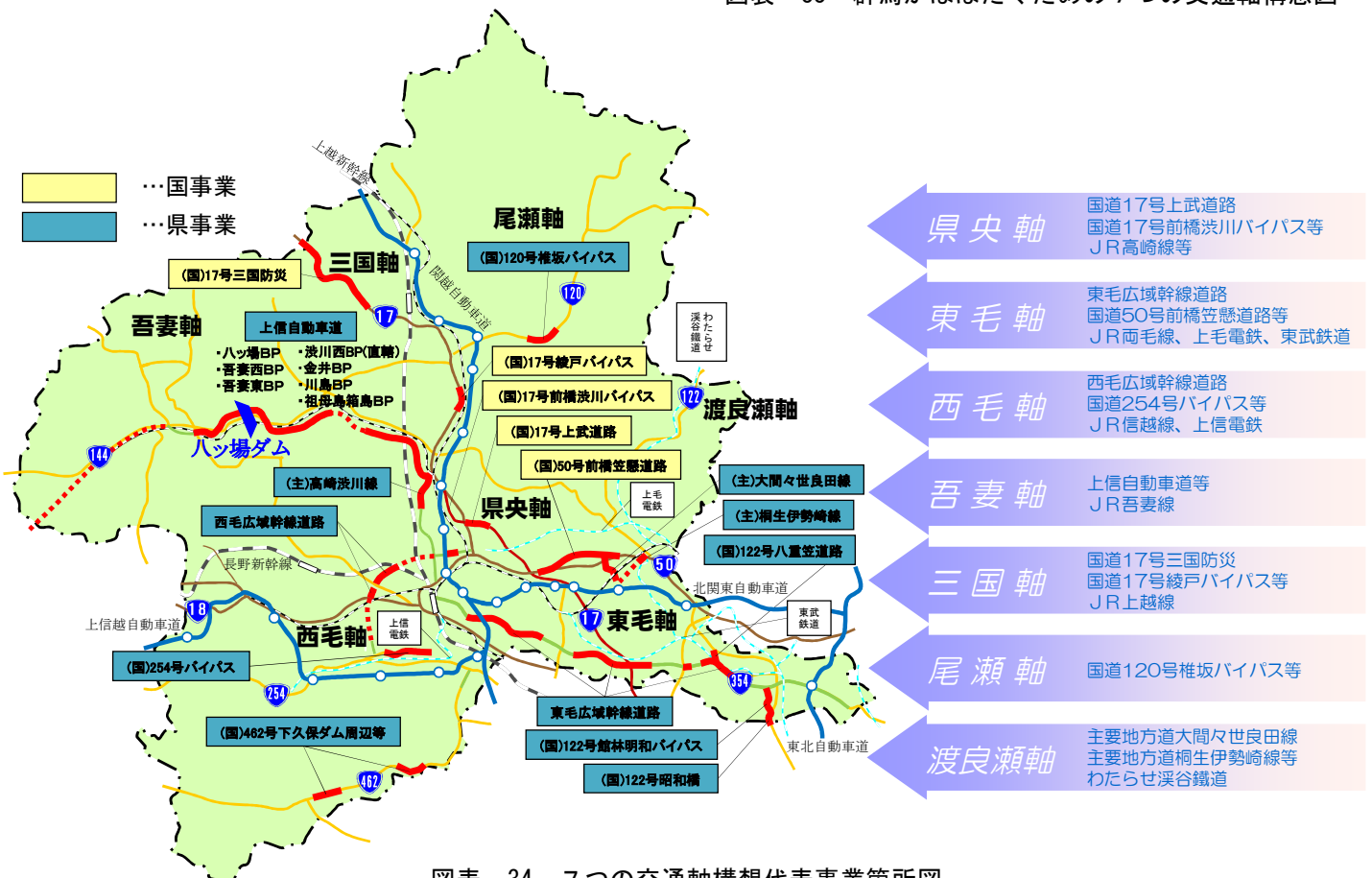
○「群馬がはばたくための7つの交通軸構想」

道路は県民の日常生活や社会経済活動を支える最も基本的な社会資本です。「群馬がはばたくための7つの交通軸構想」は、高速交通網の効果を県内すべての地域や産業の発展に活かせるよう高速交通網を補完する7つの交通軸の整備・強化を推進するものです。

具体的には、上武道路などの県央軸、東毛広域幹線道路・国道50号前橋笠懸道路・大間々世良田線などの東毛軸及び渡良瀬軸、西毛広域幹線道路などの西毛軸、上信自動車道などの吾妻軸、国道17号などの三国軸、国道120号などの尾瀬軸を7つの交通軸と位置づけています。



図表-33 群馬がはばたくための7つの交通軸構想図

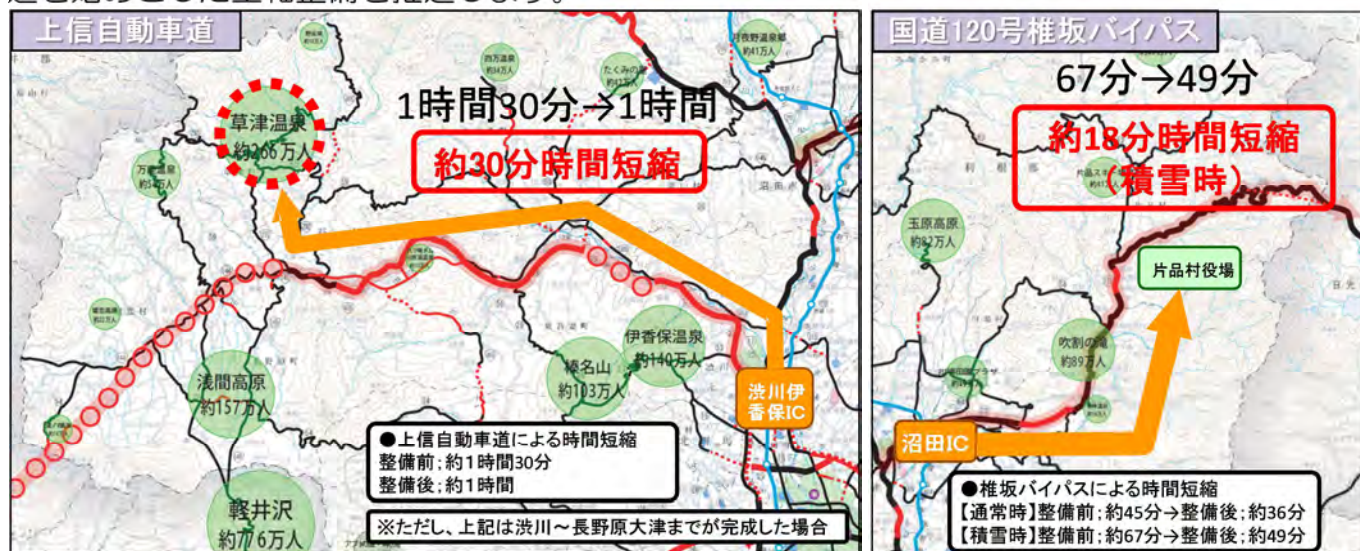


図表-34 7つの交通軸構想代表事業箇所図

7つの交通軸の整備により、県内の主要な地点を結ぶ道路は整備されますが、高速交通網の効果を県内すべての地域に行き渡らせるよう、それぞれの地域の特長を活かす道路整備を進めます。

○「軸の整備」(吾妻、利根沼田地域)

本県の観光と農業の中心である吾妻・利根沼田地域では、都市間の移動時間を大幅に短縮し、観光地へのアクセス性、農産物の輸送効率、救急医療搬送などの向上を図るため、上信自動車道を始めとした主軸整備を推進します。

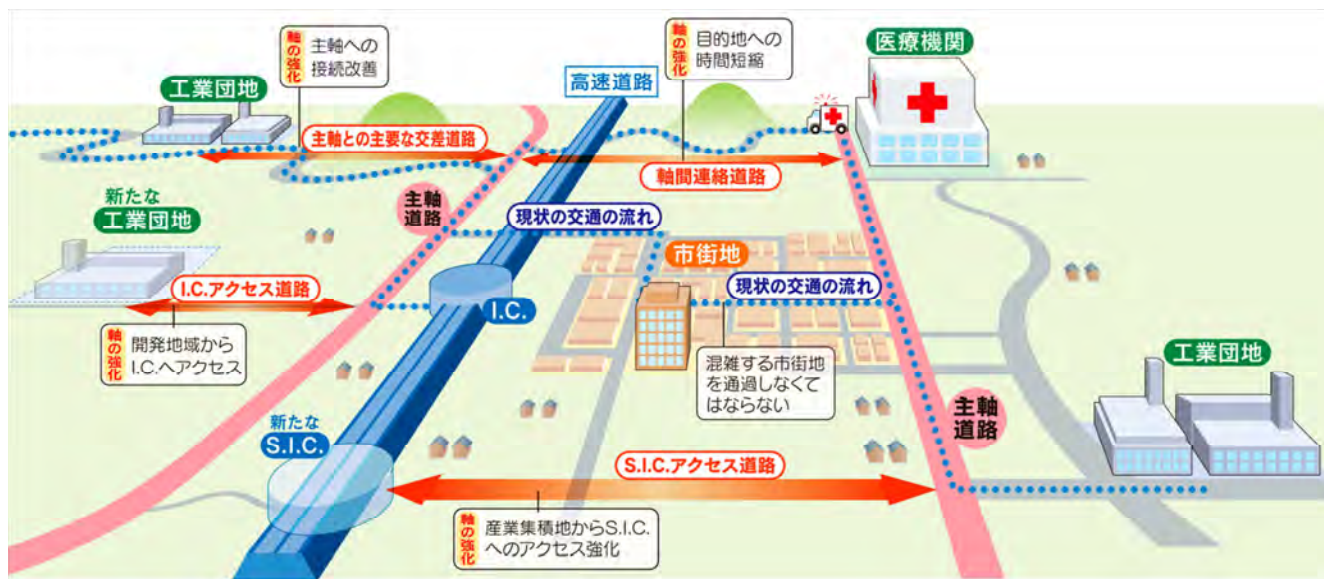


図表-35 吾妻、利根沼田地域におけるインターアクセス道路の時間短縮状況

○「軸の強化」(中部、東部、西部地域)

本県経済を牽引する中部・東部・西部地域では、慢性的な混雑や通勤時の渋滞の解消を図るため、主軸となる幹線道路の整備とともに、優良な開発可能地域と主軸を結ぶ交差道路や地域に滞留する交通を主軸に誘導する軸間連絡道路の整備を推進します。

また、物流を担う大型車が、市街地を經由しなくて済むスムーズな物流環境を提供できるよう、工業団地などから高速道路のインターチェンジへのアクセスを強化する道路整備を推進します。



図表-36 「軸の強化」イメージ図

(1)「7つの交通軸構想」の整備推進

地域の自立促進と活性化を支援するため、高速交通網（関越自動車道、上信越自動車道、北関東自動車道、上越新幹線、長野新幹線）を補完する熊谷渋川連絡道路（上武道路等）の整備促進、東毛広域幹線道路、上信自動車道、西毛広域幹線道路等の整備推進を図ります。



図表－37 全線整備が待たれる上信自動車道

(2) 経済の発展と雇用を創出する道路ネットワークの整備

北関東自動車道の全線開通により高速道路の十字軸が完成した本県は、内陸交通の要衝として企業進出が進み、平成19年から23年の5年間の工場立地件数の累計は関東で1位です。

しかし、近県における圏央道や国道17号上尾道路などの整備進捗もあることから、近県との企業誘致の競争激化などが予想されます。

そこで、本県ものづくり産業の集積地である中部、東部、西部地域では、主軸となる東毛広域幹線道路・西毛広域幹線道路などの整備を推進します。また、企業の立地状況を考慮しながら、主軸と交差する道路の整備により、移動時間を短縮することで優良な開発可能地域への物流環境の向上を図り、企業の生産拠点だけでなく、物流やバックアップ拠点の誘致における近県との地域間競争を優位に展開します。

さらに、高速道路のインターチェンジへのアクセスを強化する道路整備を推進し、高速道路網の利便性を向上することにより、空港、港、インランドデポ（内陸保税蔵置場）等の国際交流拠点への到達時間の短縮を図ります。